

第1回検討会における主な意見

- S氏の平成14年の2級の手帳交付前に通院していた大学病院の診療データについて、本人の了解を得ることが必要だとは思いますが、入手して示してほしい。
- 今回の事案は特異なケースであり、これをもって認定方法を根本的に変えるのは現実的ではないのではないか。
- 突然2級の障害になるのは稀なケースである。一方、徐々に重くなっていく経緯の中で認定が行われるケースでは不正は行われにくい。
- 3級以下では、何回か検査を行えばズレが生じるので不正に気づきやすい。全く応答しない2級の場合は気づくのが難しいことから、検査方法に何かを加えることを検討することとしてはどうか。
- 今回の検討は、認定方法の運用の改善に向けた方策について、検討することとしてはどうか。
- 他の障害における再認定を行う場合の例を教えてください。
- 診断時に行われている検査の実態や指定医の分布状況（病院なのか、診療所なのか）等も踏まえて検討すべき。